

美浜区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況(令和3年度)総括表

◆取組みテーマ別取組状況

取組みテーマ	重点取組項目数	主な取組内容
1 見守りの仕組みづくり	9	稲毛海岸地区部会エリアでは、以前、地区部会が作成した「あんしんカード(3年毎更新)」を民生委員の協力を得ながら活用しており、緊急時の対応に役立つものとなっている。 幸町2丁目地区部会エリアでは、幸町2丁目地区部会が実施する支え合い活動「幸町2丁目地区 支え合いの会」が、令和2年6月の発足以降、地域住民からのニーズに対応してきており頼られる存在となっている。 幕張西地区部会エリアの「見守り活動」では、15自治会のうち13自治会で見守り活動を実施した。
2 高齢者を支える仕組みづくり	12	高洲高浜地区部会エリアでは、地区部会主催のいきいきサロンをコロナ禍においても緊急事態宣言発出中以外、コロナ感染症拡大防止対策を取りながら開催(11サロン中8サロン)し、交流の場の開設・顔の見えるご近所づきあいの構築の一助を担った。 幕張西地区部会エリアでは、新たに開業したイオンタウン内のウエルシア薬局のカフェスペースを活用した、いきいきサロン(いきいきマルシェ)が開設され、買い物ついで等で気軽に立ち寄れる交流の場ができた。
3 障害者を支える仕組みづくり	6	打瀬地区部会エリアでは、認知症の不安を抱えている家族の相談の場として空き店舗を活用した「コミュニティスペース絆」を設け民生委員とも連携して相談支援活動を行っている。打瀬地区部会でも認知症カフェ「そよがぜの会」を開設。また障害のある方とその家族が談話・情報交換ができる場として「ほっとスペース」を設けている。
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり	6	打瀬地区部会エリアでは、地区部会主催の子育てサロンをコロナ禍においても緊急事態宣言発出中以外、開催し、子どもと子育て中の母親を支援した。
5 健康づくり	2	磯辺地区部会エリアでは、これまで実施してきたスポーツ振興会が主催する磯辺地区全体を対象とした運動会(バドミントン・卓球・野球等)がコロナ感染症拡大防止対策のため中止となった。磯辺地区内の地域ルームや町内自治会集会所においてコロナ感染症拡大防止対策を取りながら百歳体操を実施した。
6 防犯・防災に対する取組み	0	—
7 担い手の拡大とボランティアの促進	4	磯辺地区部会エリアでは、33地区連協 28自治会中10自治会が「支え合い活動」を実施している。コロナ禍においても、ゴミ出し・買物代行・草取り等を住民ニーズに応じて実施している。
8 福祉教育・啓発	3	幸町一丁目地区部会エリアでは、新たな担い手の発掘と住民にできるだけ外出の機会を提供することを目的に「ボランティア講座」を複数回開催している。当該講座は高齢者対象だけではなく、児童母子など幅広い方にも参加してもらえるよう、理学療法士による健康に関する講座(健康教室)を開催した。
9 地域のつながりづくり	9	稲毛海岸地区部会エリアでは、地区部会主催のいきいきサロンを概ね再開した。住民同士の交流の場となっており、サロン従事者・参加者が顔見知りとなり買物時等にも声をかけることができるような関係ができてきている。 真砂地区部会エリアでは、地元 千葉西警察署より詐欺犯罪の実情と対策の講話を頂くなど、地域住民の安全・安心な生活維持のため、警察とのつながりを深めた。
10 相談支援体制と情報提供の充実	1	真砂地区部会エリアでは、地域運営委員会ホームページや広報紙・チラシ等の紙媒体を活用して区内関係団体の情報が発信されている。また町内自治会を通じて、真砂地区部会が発行する地区部会だより「真砂ふれあいだより」を配布し地域住民に広く情報提供をすることができた。
令和3年度の振り返り	52	地域住民が策定した地域福祉計画の「共助」を中心とした活動を、コロナ禍にありながらも住民自らが把握した地域課題を解決させるため、コロナ感染症拡大防止対策を取りながら福祉活動を推進させてきた。活動にあたっては、あんしんケアセンター・社協区事務所・区いきいきプラザ・行政機関も協力し、活動再開にあたり相談支援・活動支援に努めた。

◆美浜区支え合いのまち推進協議会の開催状況

開催日	主な議題等
令和3年度	<p>【書面形式開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)美浜区支え合いのまち推進協 委員長・副委員長の選出について (2)「美浜区支え合いのまち推進計画の進捗状況(H30年度～R2年度)」について (3)「第5期美浜区支え合いのまち推進計画(令和4～8年度)」の原案について
第1回	8月25日(水)～9月17日(金)
第2回	11月25日(木)
	<p>【対面形式開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)令和3年度 第1回美浜区支え合いのまち推進協議会(書面開催)にかかる議案の報告について (2)美浜区支え合いのまち推進計画(第5期 美浜区地域福祉計画)の策定について

◆美浜区の地域福祉に関する好事例等

※ 記載については、下記1～3により、地域福祉専門分科会に報告する1～2事例をご紹介します。(別添記載例を参考としつつ、枠内に収まらない場合は、A3裏面1枚の範囲で追加いただいても構いません。)

- 地域での取組みのうち、下記のような事例
 - 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり(「我が事」の地域づくり)
 - 地域生活課題を包括的に受け止める体制の構築(「丸ごと」の地域づくり)
 - 新たな社会資源の創出に向けた取組み(予定含む)
- コミュニティソーシャルワーカー等の専門職が関わる支援のうち、下記のような事例
 - 複合的な課題を抱える世帯に対し、多機関が協働してチームアプローチを行った支援
 - 新たな連携先として開拓した組織・団体・専門機関(予定含む)
- コロナ禍で活動を継続するために工夫している取組事例

打瀬地区部会「健康フェスティバル」の開催

★打瀬地区部会では、令和4年3月に打瀬地区部会と打瀬公民館の共催、地元東都大学の協力で千葉県社協美浜区事務所・美浜いきいきプラザのプロデュースにより、打瀬地区の住民を対象に身体・健康測定と健康相談を行う『健康フェスティバル』を打瀬公民館にて開催しました。
主催の打瀬地区部会からはスタッフとして地域住民、東都大学幕張ヒューマンケア学部看護学科の教員と学生がボランティアとして、美浜いきいきプラザからは看護師等の専門職職員が参加し、定員以上の応募があり盛況のうちに終えることができました。
今後は、年一回 定期的に開催し継続させていくこととなりました。
このイベントは、地域住民の健康に関する意識の向上・健康増進を目的として開催するだけでなく、コロナウィルス感染拡大防止の観点から休止・自粛していた地区部会活動(サロン活動)を「アフターコロナ」「ウィズコロナ」の時期に見合った活動再開に向けた企画提案の1つとして実施しました。
開催にあたり地区内の各種団体を連携させたことでより多くの地域資源を活用して開催させることができ今後の様々な活動において連携・協力できるような基礎を作ることもできました。



今後の課題と方針	美浜区特有の地域課題(集合住宅での高齢者独居世帯、エレベーターが設置されていない中層集合住宅の住民のひきこもり・外出困難・買物困難、新旧住民間の融合、子育て世帯と高齢者世帯との交流、支え合い活動等地域福祉活動の担い手不足、活動拠点の確保等)を解決させるため、第5期 美浜区支え合いのまち地域福祉計画の基本方針に則り、具体的な取組みを検討し、コロナ感染症拡大防止に留意しながら重点的に活動を行っていきたい。
----------	--